

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		プール指導の充実				所管	教育委員会 指導課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		[法令等名]	案件ごとに起案			
	事業対象	8学級以下の区立小学校						
	事業目的	各小学校の水泳指導の安全を確保する						
	事業内容	夏季休業期間に水泳指導補助員を各小学校で雇用し、指導上の安全確保を図る。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	水泳指導補助員の雇用 (時間)		200	225	259	182	
	成果指標	事故件数 (件)		0	0	0	0	
	決算額 (単位：千円)			200	235	169		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			180	167	170	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			200	236	169	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			380	403	339	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			380	403	339			
前年度から改善した事項		水泳指導補助員のさらなる効果的な活用を行うことができた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	夏季休業期間中の教員配置不足を補い、事故の未然防止の対策として必要である。					
	効率性	3	水泳指導補助員の活用は、児童の安全確保のため必要最低限の人件費でおこなっている。					
	手段の適切性	3	水泳指導補助員の活用は、児童の安全確保において適切である。					
	目的達成度	4	単学級の学校数が減少し、指導補助員の雇用時間数は減少したが、効果的な補助員の活用により事故件数0であり、目標値を達成した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
夏季休業期間に水泳指導補助員を各小学校で雇用し、指導上の安全確保を図っている。安全な水泳指導の充実のため、引き続き実施していく。						維持		